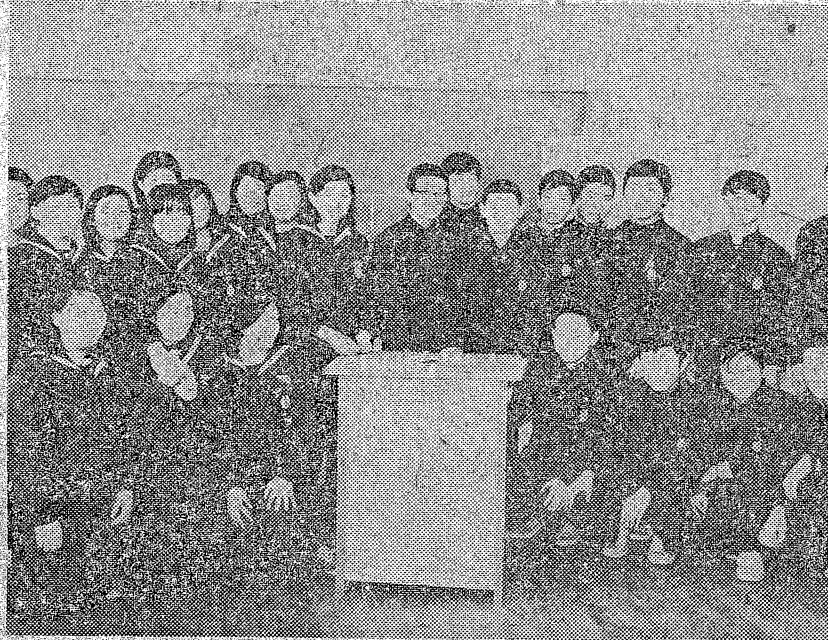


# 贈り主は天塩中3年C組

## 2年近く続いた匿名の社福振興基金



### きょう卒業式

【天塩 留明管内天塩町の町民から匿名で二年近く毎月、欠かさず北海道新聞旭川支社に「社福振興基金」が送られて、関係者を感激させていたが、この贈り主は、十五日に卒業式を迎え天塩中を巣立っていく三年C組の生徒たち二十四人とわかった。

# 毎月千円ほども

## こづかいせと身障児の記事が契機

三年C組の生徒らが募金運動を取り扱った記事が在ったのがき  
思ひ立ったのは、二年前の四月。つかけ、朝のホームルームの時間  
年五月、新聞紙上「こづかいせと身障児」の記事が、旭川市留明中勤務から記事  
の内容を知り、みんな話し  
合った。この結果、贈られた千  
円が少しでもあつた。な  
のに役立ちました。いまも  
そのために、この「こづかいせ  
と身障児」の記事が契機  
奇のこづかいせと身障児の  
た。こづかいせと身障児の  
で買物もしました。毎  
朝、ホームルームの時に集る。一  
カ月のこづかいせと身障児の  
会福社振興基金をめぐり、こづかい  
めた。二年生の四月、七月、八月  
田程度、三年生は、こづかいせと  
こづかいせと身障児のこづかいせと  
千円程度が集まりました。転校先が  
募金に賛同する同級生も、こづかい  
た。

毎月欠かさず匿名で基金を送り  
た天塩中三年C組の生徒たち  
類々同様のこづかいせと身障児の  
募集事務は、学級委員の手で行な  
われ、すでに三月分も千七百円集  
まりました。ひとよやかな善意の運動を  
続けている、こづかいせと身障児は、級友  
同士の組織感を増した。学級委員  
長の前田和香は「愛の募金」  
運動を勵んで「贈品回収などもあ  
つて、こづかいせと身障児のこづかいせと  
きた。た」と反省している。こづかい  
てきたが、生徒らは胸躍る風  
の出で胸にたたく、こづかいせと  
日を迎えようとしている。